

身のまはり

芥川龍之介

青空文庫

僕は学校を出た年の秋「芋粥いもがゆ」といふ短篇を新小説に発表した。原稿料は一枚四十銭だった。が、いかに当時にしても、それだけに衣食を求めるのは心細いことに違ひなかつた。僕はそのために口を探し、同じ年の十二月に海軍機関学校の教官になつた。なつめ夏目先生の死なれたのはこの十二月の九日このかだった。僕は一月六十円の月俸を貰ひ、昼は英文和訳を教へ、夜よるはせつせと仕事をした。それから一年ばかりたつた後のち、僕の月俸は百円になり、原稿料も一枚二円前後になつた。僕はこれらを合せればどうにか家計

を営いとなめると思ひ、前から結婚する筈だった友だちの姪めいと結婚した。僕の紫檀したんの古ふる机づくゑはその時夏目先生の奥おくさんに祝いはつて頂いたいたものである。机の寸法は豎たて三尺、横四尺、高さ一尺五寸位であらう。木の枯れてゐなかつたせるか、今では板の合せ目などに多少の狂くるひを生じてゐる。しかしもう、かれこれ十年近く、いつもこの机に向つてゐることを思ふと、さすがに愛あい惜じやくのない訣わけでもない。

二 硯けん屏びやう

僕わたしの青磁せいじの硯けん屏びやうは団子坂だんござかの骨董屋こつとうやで買ったものである。尤もつとも進んで買った訣わけではない。僕わたしはいつかこの硯屏けんびやうのことを「野や

じんせいけいのこと
 人生計事」といふ随筆の中に書いて置いた。それをちよつと
 てきろく

摘録すれば――

或日又遊びに来た室生は、僕の顔を見るが早いか、団子坂の或
 骨董屋に青磁の硯屏けんびやうの出てゐることを話した。

「売らずに置けといつて置いたからね、二三日中うちにとつて来なさい。もし出かける暇ひまがなけりや、使なんでも何なんでもやりなさい。」

宛然ゑんぜん僕ぼくにその硯屏けんびやうを買かふ義務こむでもありさうな口吻こうふんである。

しかし御意ごい通りに買かつたことを未だいまに後こうくわい悔くわいしてゐないのは室
 生むろふさいのためにも僕ぼくのためにも兎とに角かく欣きん懐くわいといふ外ほかはない。

この文中に室生といふのはもちろん室生犀星君むろふさいせいである。硯屏
 はたしか十五円だつた。

三 ペン皿

なつめ
夏目先生はペン皿の代りに煎茶せんちやの茶箕ちやみを使つてゐられた。僕は早速さつそくその智慧ちゑを学んで、僕の家には伝はつた紫檀したんの茶箕をペン皿にした。(先生のペン皿は竹だった。)これは香以かういの妹いもうと婿むこに当たる細木伊兵衛さいきいへゑのつくつたものである。僕は鎌倉に住んでゐた頃、菅虎雄すがとら先生に字を書いて頂きこの茶箕ちやみの窪んだ中へ「本もとこれさんちうのひと」とくことをあいすさんちうのわ

是山中人 愛説山 中話」と刻きざませることにした。

茶箕の外そとには伊兵衛自身がいかにも素人しろうとの手に成つたらしい岩や水を刻きざんでゐる。といふと風流に聞えるかも知れない。が、生

来の無精ぶしやうのために埃ほこりやインクにまみれたまま、時には「本是山中人」さへ逆さまになつてゐるのである。

四 火鉢

小さい長なが火鉢ひばちを買つたのもやはり僕の結婚した時である。これはたつた五円だつた。しかし抽ひきだし斗だしの具ぐ合あひなどは値段よりも上等に出来上つてゐる。僕は当時鎌倉の辻つじといふ処に住んでゐた。借家しやくやは或実業家の別荘の中に建つてゐたから、芭蕉ばせうが軒のきを遮さへぎつたり、広い池が見渡せたり、存ぞんぐわい外居心地のよい住居すまひだつた。が、八畳二間ふたまた、六畳一間ひとまた、四畳半二間、それに湯殿ゆどのや台所があつ

ても、家賃は十八円を越えたことはなかつた。僕らはかういふ四畳半の一間にこの小さい長火鉢を据ゑ、太平無事に暮らしてゐた。あの借家しやくやも今では震災のために跡かたちもなくなつてゐることであらう。

(大正十四年十二月)

青空文庫情報

底本：「筑摩全集類聚 芥川龍之介全集第四卷」筑摩書房

1971（昭和46）年6月5日初版第1刷発行

1979（昭和54）年4月10日初版第11刷発行

入力：土屋隆

校正：松永正敏

2007年6月26日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.waozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたった

のは、ボランティアの皆さんです。

身のまはり

芥川龍之介

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>